

八戸市土砂災害ハザードマップ

No. 10 上長(大仏)地区

- 警戒区域
- 特別警戒区域
- 指定避難所
- 主要な避難路
- 一時避難路
- 過去の災害等
- 道路冠水箇所

大雨時には道路が冠水するので注意してください。

天候や土砂災害発生状況により大仏生活館が危険であると判断した場合は、三条中学校へ避難してください。

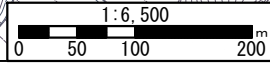
生活館などの一時避難場所に留まる場合は、必ず防災危機管理課まで連絡してください。

この付近で昭和43年の十勝沖地震により南北方向に亀裂が発生しました。亀裂は特に対策がなされず現在に至っていますので、今後とも注意する必要があります。

この付近で昭和43年の十勝沖地震により地滑りが発生しました。このとき滑った山の斜面は樹木を立てたまま下流の用水路付近まで到達したそうです。また、この地滑りで民家2戸が倒壊、流出し、幼い子供1人が犠牲となりました。付近は同じような状況の斜面ですので、今後も大地震や大雨の際には十分注意する必要があります。

大雨時には道路が冠水するので注意してください。

- 黄色で囲まれた範囲(土砂災害警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。
- 赤色で囲まれた範囲(土砂災害特別警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。
- ・土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となりますので、注意してください。
- ・また、土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や渓流、避難場所などをよく確認しましょう。



土砂災害に備えて

問い合わせ先 ■八戸市防災安全部防災危機管理課 電話：43-2147
 (土砂災害警戒情報、避難情報に関すること)
 ■八戸市建設部港湾河川課 電話：43-2137
 (現地警戒に関すること)

- 土砂災害は短時間豪雨や長雨などの大雨に伴って発生しますが、急傾斜地のどこでいつ起きるかを正確に予測することは困難です。
- 土砂災害が発生するおそれがあるときは、テレビ、ラジオ等の最新情報に注意し、非常持出品を持って速やかに安全な場所に避難してください。
- いざというときに備え、避難場所やそこまでの経路を確認しておきましょう。
- 土砂災害の危険から身を守るのはあなた自身です。

八戸市

①土砂災害警戒区域や避難場所を確認しておきましょう！（表面参照）

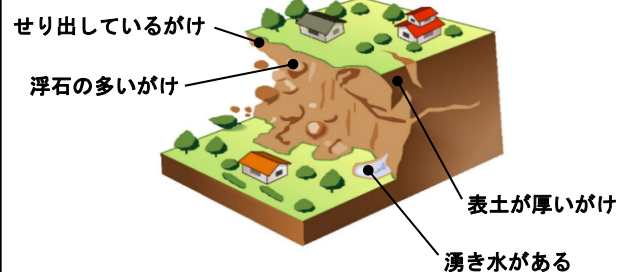
②雨が強くなってきたら、雨量情報、予報、警報情報を入手しましょう！

- テレビやラジオ等の天気予報などで気象情報を確認しましょう。
- 雨が強くなってきたら、電話やインターネットでも確認しましょう。
 ・最新の天気予報、注意報、警報についての問い合わせ：青森地方気象台
 電話：017-741-7459（自動応答・24時間対応）
 インターネット：<http://www.jma-net.go.jp/aomori/>
- 八戸市安全・安心情報システム「ほっとスルメール」に登録すると、大雨や土砂災害の情報をメールで入手できます。またホームページでも情報をご覧いただけます。
 携帯電話からは <http://anshin.city.hachinohe.aomori.jp/mobile/>
 パソコンからは <http://anshin.city.hachinohe.aomori.jp/anshinPub/>
- スマートフォン用の専用アプリはこちらからダウンロードできます。
<http://anshin.city.hachinohe.aomori.jp/anshinPub/smartphoneApplication.html>

③前兆現象を見つけたら消防、市役所、町内会長へ連絡しましょう！

がけ崩れ

地面にしみ込んだ雨水などが土の抵抗力を弱め、弱くなった急ながけ地や斜面が突然崩れ落ちることです。地震によって起こることもあります。突発的に起こり、瞬時に崩れたり落石があるので、逃げ遅れた場合、死傷者がでる割合が高くなります。



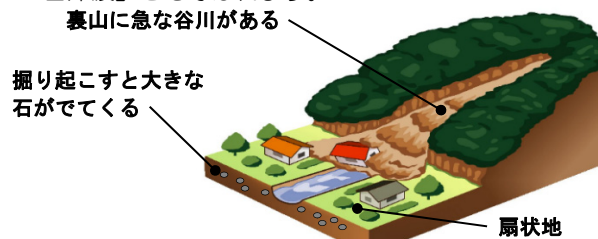
こんなときは赤信号！

- 斜面の途中から水が急に湧き出してくるとき。
- 斜面からバラバラと小石等が落ちてくるとき。
- 石垣や擁壁にすれ、盛り上がり、亀裂がある



土石流

谷や斜面に溜まった土砂が、大雨による水といっしょになって、一気に流れ出してくるものです。破壊力が大きく速度も速いので、大きな被害をもたらします。「山津波」とも呼ばれます。

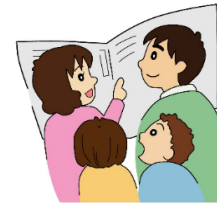


こんなときは赤信号！

- 流木の裂ける音や巨礫の流れる音が聞こえるとき。
- 溪流の流水が急に濁りだしたり、流木などがまざっているとき。
- 降雨が続いているにもかかわらず溪流の水位が急激に減少しはじめたとき（上流で崩壊した土砂により流れが止められているおそれがある。）



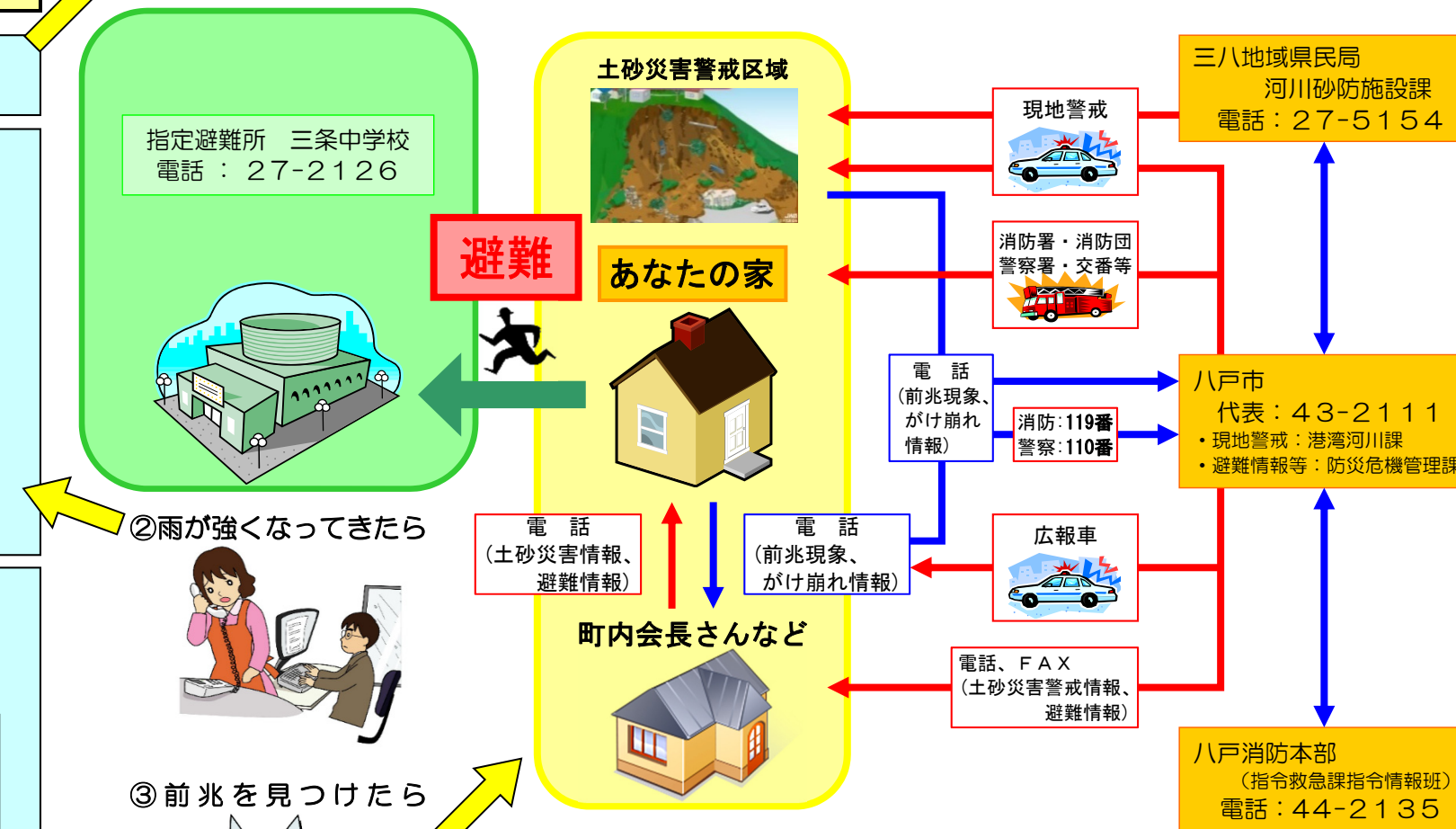
① 日頃の備え



④避難勧告などの連絡があったらすぐ避難しましょう！

⑤避難のときにはこんなことに気をつけましょう！

- 避難場所へ避難する際には、他の土砂災害危険箇所や浸水想定区域（浸水するおそれがある区域）を避けた避難経路を選択しましょう。
- 危険斜面から直角方向に避難し、できるだけ斜面（崖）から離れましょう。



③前兆を見つけたら



④・⑤ 避難



町内会長さん・班長さん
 会長 _____ さん、電話 _____
 班長 _____ さん、電話 _____

※町内会長さんなどの地区代表者の連絡先を調べて記入願います。

わが家の防災メモ

避難する場所	
連絡をとる相手	